

グルジア政治・経済 主な出来事

【2013年11月18日～11月24日】

[当地報道をもとに作成]

平成25年11月27日

在グルジア大使館

主な動き

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼ロシアからの経済支援(19日)

・アブハジア「財務省」によれば、2013年中にこれまでアブハジアは33億ルーブル以上の経済支援をロシアから受けた。2013年の予算ではロシアからの約44億7500万ルーブルの経済支援が見積もられている。

2. 外 政

▼グルジア・イスラエルの査証免除協定(18日)

・トビリシでガリバシヴィリ内務大臣・次期首相とキルシェンバウム・イスラエル内務次官が査証免除協定に署名。発効のためには両国会での批准承認が必要であるが、グルジア外務省によれば、この協定によりグルジア国民はイスラエル国内に6カ月の期間内に査証無しで最大90日間滞在できるようになる。グルジアは既にイスラエル国民に対して一方的に査証を免除している。

・同時に、犯罪に対する取り組みにおける両国間の協力に係る合意にも署名がなされた。

▼グルジアがEU危機管理活動に参加(20日)

・EU外相・国防相理事会が危機管理活動(Crisis Management Operations)へのグルジアの参加を決定。2012年11月にアシュトンEU外交・安全保障政策上級代表がグルジアを訪問した際に提案したもの。

▼ガリバシヴィリ首相候補が一部の国に対する査証免除の見直しを示唆(20日)

・「ガ」首相候補は国会で「グルジアは現在118カ国に対して査証を免除しているが、リスクがあれば、一部の国に対しては免除を見直すかもしれない」と発言。

▼アブハジア・南オセチア問題に関するザカレイシヴィリ再統合問題担当国務大臣の発言(20日)

・「ザ」再統合問題担当国務大臣は国会で、国名は明らかにしなかったが、「バヌアツに続き少なくとも1カ国がアブハジアおよび南オセチアの承認を撤回することを期待している」と発言。現在、両地域の独立を承認しているのはロシア、ニカラグア、ベネズエラ、ナウルおよびツバルの5カ国。

▼アバシゼ対露関係首相特別代表とカラーシン露外務次官が会談(21日)

・プラハで、アバシゼ対露関係首相特別代表とカラーシン露外務次官が5度目の会談を行なった。

・「カ」露外務次官は、ロシアはグルジアの大統領選挙を注視していたとして、「過度な期待をするべきではない」

としながら、「これからは解決策を共同で探る建設的な期間になる」「グルジアの新しい大統領の発言を我々は肯定的に受け止めている」と述べた。

・次の会談を2014年2月か3月に開催することで合意。
・「ア」特別代表は会談後の声明で、1年前に会談を始めるに当たって設定された議題の多くは既に対処されたとして、会談で対話の「次のステージ」で取り組むべき問題について意見を交換したと述べている。

・露外務省は会談の「建設的で友好的な雰囲気」を評価する声明を発表。また、声明によれば、ロシアはグルジア国民に対する査証の発効に関して「柔軟なアプローチ」をとっており、それにより、2013年のグルジア国民に対する査証の発行件数は前年に比べて40%増加した。

▼マルグヴェラシヴィリ大統領とギュル・トルコ大統領の電話会談(22日)

・ギュル・トルコ大統領がマルグヴェラシヴィリ大統領の就任を祝い、トルコに招待した。大統領府によれば、「大統領のトルコ訪問は近い将来に行なわれる」。

3. 内 政

▼ベジュアシヴィリ議員が「統一国民運動」会派を離党(18日)

・ダヴィット・ベジュアシヴィリ議員はクヴェモ・カルトリ地方テトリツカロ選挙区選出。1999年以降議員を務めている。グルジア最大のビジネスグループの一つである「Georgian Industrial Group」の関係者。別の会派には加わらず無所属として活動する意向を示している。

・国会内の「統一国民運動」会派の議員は51名となった。これまでに「統一国民運動」会派を離れた議員は「ベ」氏を含め14名。いずれも小選挙区選出の議員。

▼新政府が発足(20日)

・18日にガリバシヴィリ首相候補が政府のメンバーを発表。新しい政府のメンバーは、内務大臣がガリバシヴィリ氏からアレクサンドレ・チカイゼ氏に代わった以外は、全て留任。同18日、マルグヴェラシヴィリ大統領が「ガ」首相候補の指名に係る大統領令を发出。

・「ガ」首相候補は「強かつ民主的な統一されたグルジア」と題したプログラムを国会に提出。2日間にわたり国会で新政府のメンバーと国会議員の討論が行われた。野党グループとの討論では、「ガ」首相候補が前政権を「ネオ・ファシズム体制」と呼ぶなど激しく対立。

・20日、国会はガリバシヴィリ氏を支持93票、不支持19票で新首相として承認した。同20日、「マ」大統領が首相を任命。

▼大統領選挙候補者に対する献金額(20日)

・7月1日から11月1日までの間に大統領選挙候補者が受けた献金は総額約500万ラリ。うち、最大の約250万ラリがブルジャナゼ候補に対するもの。マルグヴェラシヴィリ候補約200万ラリ、バクラゼ候補約41万ラリ。

▼イヴァニシヴィリ前首相の公開書簡(21日)

・辞任の翌日に「今後は社会の活動的な一員となる」旨の公開書簡を発表。退任後には政界の黒幕として影響力を振るうとしばしば噂されることについて、「私の活動は完全に透明である。もちろん私の一定の影響力は残るだろうが、それは非難されるべきものではない」「政府に対する国民の影響力は民主主義において極めて重要である」「私が大切に思うのは人権、欧州的な価値観、欧州・大西洋との統合の追求、米国との戦略的パートナーシップ、ロシアを含む隣国との関係正常化である。それらを発展させるために私は影響力を行使するだろう」と述べている。

▼主任検察官の任命(21日)

・既に辞任の意思を表明していたクビラシヴィリ氏に代わり、37歳のオタル・パルツハラゼ氏が主任検察官に任命された。「パ」氏はこれまで財務省シダ・カルトリ地方調査局副局長、局長、財務省調査局長を歴任。

・法律上、主任検察官は法務大臣の指名を受けて首相が任命する。しかし、11月8日にガリバシヴィリ次期首相(当時)が「パ」氏を任命する意向を表明した際、ツルキアニ法務大臣は「個人的に『パ』氏を知らない」とコメント。その後「ツ」法務大臣との面談が行なわれた。

・ナツヴリシヴィリ次席検察官も辞任。財務省調査局職員イラクリ・ショタゼ氏が後任に就くことが発表された。

▼国家安全保障会議書記および大統領補佐官の任命(21日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領は、17日に辞任したボケリア氏に代わり、与党連合「グルジアの夢」のイリネ・イメルリシヴィリ議員を国家安全保障会議書記に任命。

・「マ」大統領は大統領の外交政策補佐官にヴァノ・マチャヴァリアニ氏を任命。元駐日グルジア大使(2007年～2009年)。兄のミヘイル・マチャヴァリアニ氏は「統一国民運動」所属の国会議員で元国会副議長。

▼参謀総長の任命(22日)

・2012年12月から参謀総長に就いていたイラクリ・ズネラゼ氏に代わり、これまで参謀次長を務めていたヴァフタング・カパナゼ氏が新たに参謀総長に任命された。

・22日にはマルグヴェラシヴィリ大統領、アラサニア国防大臣、チカイゼ内務大臣およびカパナゼ参謀総長が会合を開き、その後、「マ」大統領と「ア」国防大臣がトビリシ郊外のヴァジアニ基地を視察した。

▼国防次官の任命(23日)

・アラサニア国防大臣はプロラゼ国防次官に代わり、これまで内務次官であったアレクサンドレ・バティアシヴ

イリ氏を国防次官に任命。

▼ナルマニア地域開発・インフラ大臣がトビリシ市長候補者に(23日)

・連合「グルジアの夢」は、2014年春に予定されている地方選挙において、ダヴィト・ナルマニア地域開発・インフラ大臣をトビリシ市長候補者にすることを決定したと発表。

▼「グルジアの夢・民主グルジア」党大会(24日)

・イヴァニシヴィリ前首相に代わりガリバシヴィリ首相が党首に選ばれ、カラゼ・エネルギー・天然資源大臣が党の幹事長に就任した。

・党の意思決定機関である政治評議会の定員を21名から12名に縮小。メンバーはカラゼ・エネルギー・天然資源大臣、ハドゥリ財務大臣、イメルリシヴィリ国家安全保障会議書記ら。

4. 経 済

▼IMF代表団がグルジアを訪問(20日)

・グルジアを訪れている国際通貨基金(IMF)代表団とハドゥリ財務大臣が会談。グリフィスIMF代表団長は、2013年のグルジアの経済成長を2.5%～3%と見込み、「健全なビジネス・財政政策が行われれば、来年は5%の経済成長が期待できる」と述べた。

▼ザンビア中央銀行の代表団がグルジア国立銀行を視察(21日)

・アフリカからのグルジア国立銀行の視察は、エチオピア、ボツワナ、マラウイに次いで4カ国目。税制度に係るシステムの導入についての経験を学ぶため。

▼フィッチ社がグルジアの長期的格付けを「BB-」と評価(21日)

・見通しを「安定的」、カントリーシーリングを「BB」と評価。制度面での前進はあったが、政治的なリスクが残っていると、「イヴァニシヴィリ前首相の辞任後の与党連合の結束が試される」「前政権のメンバーに対する司法手続きが政治的な雰囲気悪化させる恐れがある」とコメントしている。

▼バクー・トビリシ・カルス鉄道に関するトルコの運輸・海事・通信大臣の発言(22日)

・ユルドゥルム・トルコ運輸・海事・通信大臣はトルコ紙に対し、「105kmの新たな線路の敷設およびグルジア国内のアハルカラキ・マラブダ・トビリシ間の線路の再建が遅くとも2014年末には完了する予定である。欧州の鉄道網に直結され、年間3千万トンの貨物の輸送が見込まれる」と発言。

4. その他

▼西グルジアで強風の被害(20日)

・強風のため、サメグレロ地方を中心に約4万戸が停電。